

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル沖繩縣及東京府小笠原島伊豆七島ニ於ケル酒造稅ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治四十一年三月二十六日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
大藏大臣 松田正久

法律第二十四號(官報 三月二十七日)

第一條 沖繩縣及東京府小笠原島伊豆七島ニ於テハ酒造稅法第四條ニ依ル造石稅ハ當分其ノ三分ノ一トス

第二條 東京府小笠原島伊豆七島ニ於テ製造シタル酒類ハ之ヲ帝國内ノ他ノ地方ニ移出スルコトヲ得ス犯ス者ハ其ノ石數ニ應シ酒造稅法第四條ノ稅率ニ從テ算出シタル稅額五倍ノ罰金ニ處ス但シ五十圓ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ酒類及其ノ容器ハ何人ノ所有ニ屬スルヲ問ハス之ヲ沒收ス

第三條 舊慣ニ依ル沖繩縣酒造免許稅ハ自今之ヲ徵收セス

第四條 舊慣ニ依リ酒造ノ免許ヲ受ケタル者ニシテ本法施行後引續キ酒類ヲ製造スルモノハ酒造稅法ニ依リ免許ヲ受ケタル者ト看做ス

附則

前項ノ製造者ニハ當分酒造稅法第五條第二項ノ規定ヲ適用セス

本法ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル沖繩縣酒類出港稅則中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治四十一年三月二十六日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
大藏大臣 松田正久

法律第二十五號(官報 三月二十七日)

沖繩縣酒類出港稅則中左ノ通改正ス

第一條中「第四條ノ稅率ニ依リ」ヲ「第四條ニ依ル造石稅ノ三分ノ二」ニ改ム

附則

本法ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ酒造稅法及明治四十一年法律第二十四號ニ依リ造石稅ヲ課セラレサル酒類ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

〔參照〕

勅令第十二號沖繩縣酒類出港稅則(明治二十一年三月二十二日官報)抄錄
第一條 沖繩縣内ニ於テ製造シタル清酒、濁酒、白酒、味淋又ハ燒酎ヲ帝國内ノ他ノ地方ニ移出スルトキハ旅客ノ携帶品タルト否トヲ問ハス其ノ石數ニ應シ酒造稅法第四條ノ稅率ニ依リ出港稅ヲ課ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル酒母、醱及麴取締法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

寶物ノ部

郡市區町村大字字番地
社格 何 神社

登録年月日	名稱	員數	品質形狀寸尺	作者傳來	備考

備考

一古社寺保存法ニ依リ國寶ニ指定セラレタルトキハ其ノ旨備考ニ記入スヘシ
(神社備置ノ臺帳ニハ品目ノ頭ニ「番號」ヲ一欄ヲ設ケ現品ノ合番號ヲ記入スヘシ)

大藏省令第三十三號

明治四十年九月 大藏省令第三十七號中左ノ通改正ス

本令ハ明治四十一年七月十五日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十一年七月四日

大藏大臣 松田正久

專賣局收納所管轄區域表中

- (イ) 專賣局東京收納所ノ欄神奈川縣橫濱市ノ下ニ橫須賀市ヲ加フ
 - (ロ) 專賣局秦野收納所ノ欄神奈川縣ノ下括弧内橫濱市ノ下ニ橫須賀市ヲ加フ
- 專賣局收納所出張所藏置所名稱位置中
專賣局小出雲收納所ノ欄相川出張所ノ名稱位置ヲ左ノ通改正ス

—— 実出張所—— 新潟縣佐渡郡兩津町 ——

大藏省令第三十四號

明治四十一年法律第二十四號施行ニ關スル件左ノ通相定ム

明治四十一年七月七日

大藏大臣 松田正久

舊慣ニ依リ酒造ノ免許ヲ受ケタル者ニシテ明治四十一年法律第二十四號施行後引續キ酒類ヲ製造セムトスル者ハ本令施行後二十日以内ニ其ノ旨所轄稅務署ニ申告スヘシ

附則

本令ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

明治四十一年三月二十日法律第二十四號ハ沖繩縣及東京府小笠原島伊豆七島ニ於ケル酒造稅ニ關スル件ナリ

大藏省令第三十五號

明治四十一年勅令第五百五十七號ニ依ル專賣局現業員共濟組合規則左ノ通相定メ明治四十一年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十一年七月十五日

大藏大臣 侯爵桂太郎